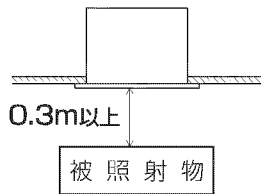


■照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は0.3m以上離してください。



！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■LEDユニットについて

- ・明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- ・LEDのみの交換はできません。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

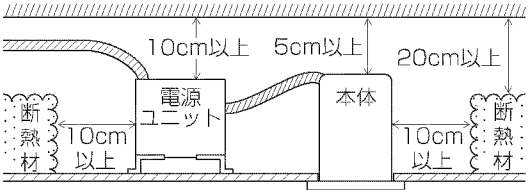
型 番 XD38800L・XD38801L・XD38802L・XD38803L・XD38804L
XD38805L・XD38806L・XD38807L・XD38808L・XD38809L
XD38810L・XD38811L

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	🚫 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	🚫 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。		器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
	ダウンライトなどの埋込タイプの器具を設置する場合は、図のように器具と断熱材・防音材との距離をとってください。 断熱材・防音材で器具本体の放熱穴などをおおわないでください。 →放熱が妨げられ器具および断熱材が過熱する原因になります。	🔌 アース工事	器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。 →被照射物の焼損による火災の原因になります。
🚫 禁止	電気配線は断熱材・防音材の上にくるようにしてください。 断熱材・防音材の上部は最低20cm以上の空間が必要です。		アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
		！ 厳守	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。 →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。
	器具から断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください。電源ユニットは天井面より10cm以上、本体は天井面より5cm以上離してください。住宅での断熱施工天井ではご使用できません。		ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラをご使用ください。 →チラツキ・誤動作の原因になります。
この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。		表示された電源電圧(AC100V～AC242V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	
		異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。	

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

接触禁止

点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため
触らないでください。
→やけどの原因になります。

禁止

ガス機器など、温度が高くなるものの上への取
付けや、器具の下にストーブなどの高温のもの
を置かないでください。また、燃えやすいもの
を近づけて使用しないでください。
→火災の原因になります。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	重量
XD38800L・XD38801L・XD38802L XD38803L・XD38804L・XD38805L XD38806L・XD38807L・XD38808L XD38809L・XD38810L・XD38811L	AC100V～ 242V	0.95A～ 0.40A	93W	LED1球 モジュール	3.0kg

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

このような場所には取付けしないでください。

傾斜天井

壁面

禁止

2 埋込穴寸法

1 強度の確保

3 コーキング剤

4 電源線

6 本体

LEDユニット

板バネ

枠

落下防止ワイヤー

7 反射板

送り用調光信号用端子

入力用調光信号用端子

5 電源ユニット

接続端子

取付金具

この付属部品

結束バンド・・・1本

1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

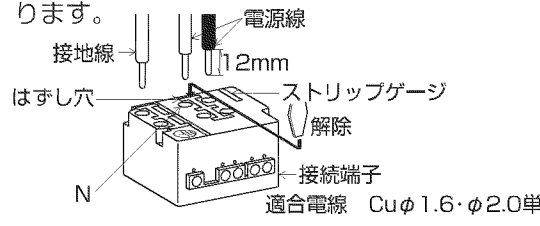
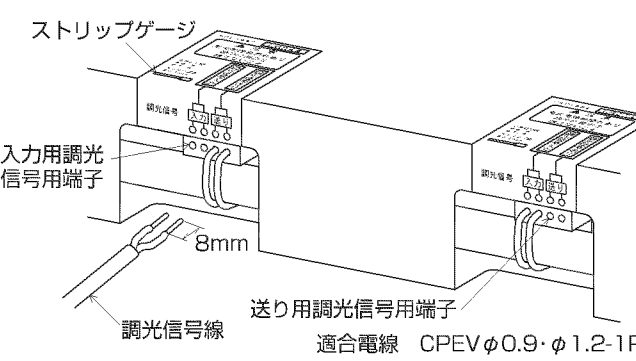
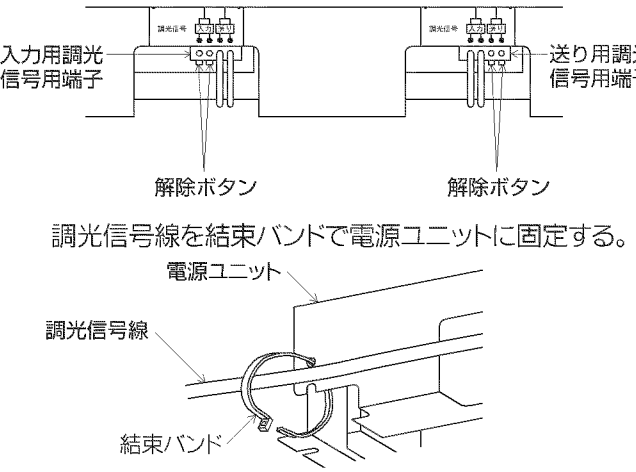
2 天井に埋込穴をあける

埋込穴寸法	天井材厚
φ150±2	1～35mm

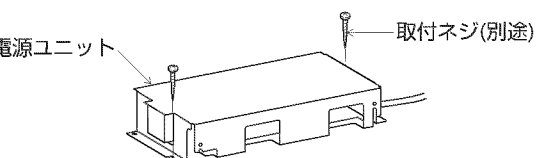
3 取付面が凹凸のある天井の場合

取付面と本体の間にすきまが発生している場合は、
コーキング剤で天井面を平面にする。
△注意 タイル面などの取付面に凹凸がある場合は
すきまを埋めてください。
本体と取付面とのすきまを防水シールなどで埋め
てください。火災・感電の原因になります。

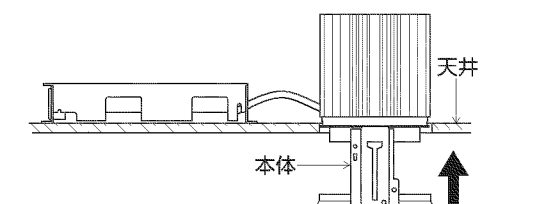
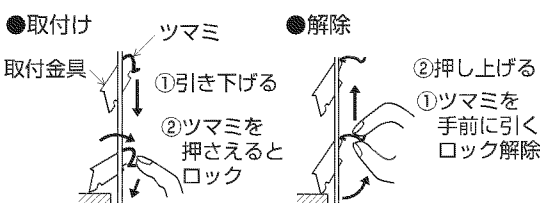
4 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、
接続端子に確実に差し込む。このとき、電源線は器
具から離して施工する。また、送り配線は照明器具
専用とする。(接続端子の容量は20A)
はずす時ははずし穴にマイナスドライバーを差し込
み、電源線を抜く。
※D種(第三種)接地工事を行なう。
△警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場
合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因にな
ります。

△警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場
合は、火災・感電の原因になります。
＜調光する場合＞
ストリップゲージに合わせて調光信号線の被覆を
むき、入力用調光信号用端子に確実に差し込む。
※調光信号線を送り配線する場合は、送り用調光
信号用端子を使用する。
△警告 調光信号線の接続を確実にこなしてくだ
さい。接続が不完全な場合は、火災・感電の原因
になります。



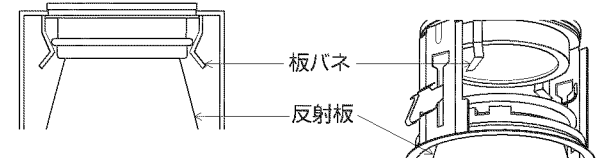
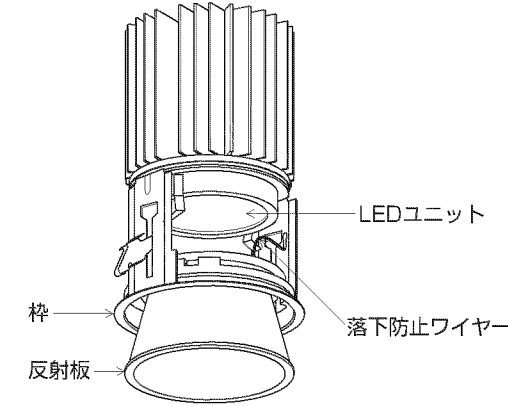
5 電源ユニットを設置する

電源ユニットを埋込穴より天井に入れ、電源ユニッ
トが横転・逆転しないように設置する。


6 本体を取付ける

反射板をはずしてから、本体を天井穴に入れ、水平
に押し上げ、取付金具で天井に確実に取付ける。
△警告 取付け後、電源線が器具に触れないように
してください。火災・感電の原因になります。

●取付け ●解除


7 反射板を取付ける

反射板を押し上げて反射板の上部を本体の板バネに
はめ込む。はずす時は反射板を水平に引き下ろす。
※反射板を取付ける際、反射板や板バネ、本体など
に落下防止ワイヤーをはさみ込まないようにこな
ってください。



8 点灯の確認を行なう

取説No. D101-237 HR/S・T

取説No. D101-237 HR/S・T